

3月の学級づくり【中学校版】

3月は、別れのとき。卒業、担任との別れ、教科担任や顧問との別れ、友達との別れ、教室との別れなど、様々な別れの場面があります。特に、様々なトラブルを乗り越え、自分たちの学級が集団として高まり、互いの違いが認め合える学級となったことを自覚できるようにしたいものです。



これまでの活動をまとめよう

生徒とともに活動を振り返り、学級で取り組んできた中核活動（総合的な学習の時間など）のまとめをしましょう。

3年間（1年間）の高まりを実感し、自己肯定感をもてるまとめができるといいですね。

- ・歌ってきた合唱曲をCDにまとめよう。
- ・交流学习を行ってきた方々へ「感謝の会」を開催しよう。
- ・調査・体験してきた活動をまとめた冊子を仕上げよう。

進級も、別れです。来年を見据えて、1年間の仕上げを行うことが大切です。

学級編制で新しい学級担任にまっすぐ向き合うことができる生徒、新しい生徒たちに全力を傾けることができる教師でありたいものです。

そのためにも、まとめをきちんとしたいものです。

学級通信を出すときに

学級通信は、忙しい中、継続して発行するのは大変です。でも、工夫や配慮により、学級の様子を伝えたり、成長を振り返る手だてとなります。

題材や話題

- ・生活記録などの生徒の生の声を載せるときは、プライバシーや掲載回数にも配慮して。
- ・できるだけ、心温まる話題を中心に記載。

発行回数や方法

- ・回数が目的ではないけれど、定期的に発行。
- ・発行日程が分かると、家庭にも届きやすい。

レイアウト

- ・一部でも手書きがあると、温かみが倍増！
- ・写真やイラストを多めに入れると、文章だけより見栄えがよくなり、作成時間も短縮。

まとめ

- ・ファイル等に保管させ、最後に他の印刷物と共に綴らせて、1年間の成長記録とする。

教室環境（掲示物等）をつくる工夫

学級じまいを演出する

あわただしい年度末。教室の掲示物は、大掃除で一気に処分。または、そのまま春休みを迎えて、担任の先生が処分。そんなことはありませんか。

掲示物、ファイル、棚の中など、いつ、どのように片付けるか、計画しましょう。外した掲示物をクラス全員で見ながら、1年の活動を振り返ってもいいですね。また、個人の目標が掲示してあれば、それを見ながら振り返る時間を設けることも大切です。

学級じまいを惜しむ気持ちが生まれるように演出してみましょう。

学級目標を意識した取組を工夫する

片付けるだけでなく、学級目標に向かう短期的なプロジェクトを行うことも考えられます。取組の成果を掲示等で「見える化」することで、共に活動した仲間を意識できるようにします。

子どもの「つまずき」を支援するポイント
～グループ活動が苦手～

「曖昧な状況だと、どうしたらよいか分からない生徒」には

グループ活動のテーマや手順をプリントや黒板を活用して明確に示しては、グループ内で一人一人に役割を用意し、その生徒の役割を明確に伝えては。

「友だち関係がうまく築けない生徒」には

その生徒の特長を理解している生徒を同じグループにし、負担にならないよう配慮しつつ他の生徒との橋渡しの役割を果たすことを依頼しては。

困ったときに、友だちに質問したり、教師に助言を求めたりする意思表示の方法を一緒に考えては。